第三期特定健康診査等実施計画

しんくみ関西健康保険組合

最終更新日：令和 元 年 06 月 26 日

特定健康診査等実施計画　(平成30年度～令和5年度)

背景・現状・基本的な考え方			
No.1	増加傾向にある若い被保険者への健康教育及び情報発信 子育て世代への保健事業	→	当組合の循環器健診開始年齢の３０歳より若い方へのアプローチを考える。 子育て世代への保健事業を検討する。
No.2	一定の成果はあがっているが、まだ低い家族の特定健診受診率	→	方向性はこのままで、受診率の推移を見守り必要であれば新たな対策を講じる。
No.3	生活習慣病の一人当たり医療費が高い	→	特定保健指導を本格的に再会したのが平成２７年度のため、先ずは保健指導の成果を分析する。 その上で、若年層の内から生活習慣病対策の健康教育を行う。
No.4	インフルエンザの一人当たり医療費が低い（予防接種補助の成果確認）	→	一定の成果を上げている予防接種事業を他の予防接種にも拡充できないか検討する。
No.5	歯科疾患の一人当たり医療費が高い	→	歯科疾患の予防対策を行う。

基本的な考え方（任意）

日本内科学会等内科系８学会が合同でメタボリックシンドロームの疾患概念と診断基準を示した。これは、内臓脂肪型に起因する糖尿病、高脂血症、高血圧は予防可能であり、発症した後でも血糖、血圧をコントロールすることにより重病化を予防することが可能であるという考え方を基本としている。
メタボリックシンドロームの概念を導入することにより、内臓脂肪の蓄積や、体重増加等が様々な疾患の原因になることをデータで示すことができるため、健診受診者にとって生活習慣の改善に向けての明確な動機付けができるようになる。

特定健診・特定保健指導の事業計画

1 事業名　**特定健診　（被保険者）**　　対応する健康課題番号　**No.3**

事業の概要

対象	対象事業所：全て, 性別：男女, 年齢：40～74, 対象者分類：被保険者
方法	-
体制	-

事業目標

検診実施の促進（実施率９５%以上）
現状の高い受診率を維持していく

評価指標							
	アウトカム指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	喫煙率	30 %	29 %	28 %	27 %	26 %	25 %
	アウトプット指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	受診率	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %

実施計画

H30年度	R1年度	R2年度
継続	継続	継続
R3年度	R4年度	R5年度
継続	継続	継続

2 事業名　**特定健診　（被扶養者）**　　対応する健康課題番号　**No.2**

事業の概要

対象	対象事業所：全て, 性別：男女, 年齢：40～74, 対象者分類：被扶養者
方法	-
体制	-

事業目標

検診実施の促進（受診率５５%以上）
第１期計画により実施率は上昇しており、第2期は現状の事業を継続する。

評価指標							
	アウトカム指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	喫煙率	30 %	29 %	28 %	27 %	26 %	25 %
	アウトプット指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	受診率	55 %	55 %	55 %	55 %	55 %	55 %

実施計画

H30年度	R1年度	R2年度
第１期計画より実施率は上昇しており継続	継続	継続
R3年度	R4年度	R5年度
３年間の受診率の推移を見て検討する	３年間の受診率の推移を見て検討する	３年間の受診率の推移を見て検討する

3 事業名	特定保健指導	対応する健康課題番号	No.3

事業の概要

対象	対象事業所：全て, 性別：男女, 年齢：40～74, 対象者分類：被保険者/被扶養者/基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

第１期開始時に循環器健診委託先が特定保健指導を再開したため、平成２７年度は初めて指導を受ける方が多く高い実施率だった。それ以降は実施率が下降しており、現状維持を目標とする。

評価指標	アウトカム指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	26 %	27 %	28 %	29 %	30 %	31 %
	アウトプット指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	実施率	30 %	30 %	30 %	30 %	30 %	30 %

実施計画

H30年度	R1年度	R2年度
継続	継続	継続
R3年度	R4年度	R5年度
３年間の実施率を見て検討する	３年間の実施率を見て検討する	３年間の実施率を見て検討する

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健康診査実施率	計画値※1	全体	1,274 ／ 1,575 ＝ 80.9 %	1,262 ／ 1,559 ＝ 80.9 %	1,248 ／ 1,542 ＝ 80.9 %	1,260 ／ 1,530 ＝ 82.4 %	1,280 ／ 1,530 ＝ 83.7 %	1,300 ／ 1,530 ＝ 85.0 %
		被保険者	968 ／ 1,019 ＝ 95.0 %	960 ／ 1,010 ＝ 95.0 %	950 ／ 1,000 ＝ 95.0 %	955 ／ 995 ＝ 96.0 %	965 ／ 995 ＝ 97.0 %	975 ／ 995 ＝ 98.0 %
		被扶養者 ※3	306 ／ 556 ＝ 55.0 %	302 ／ 549 ＝ 55.0 %	298 ／ 542 ＝ 55.0 %	305 ／ 535 ＝ 57.0 %	315 ／ 535 ＝ 58.9 %	325 ／ 535 ＝ 60.7 %
	実績値※1	全体	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %
		被保険者	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %
		被扶養者 ※3	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %
特定保健指導実施率	計画値※2	全体	87 ／ 290 ＝ 30.0 %	84 ／ 280 ＝ 30.0 %	81 ／ 270 ＝ 30.0 %	78 ／ 260 ＝ 30.0 %	78 ／ 260 ＝ 30.0 %	78 ／ 260 ＝ 30.0 %
		動機付け支援	30 ／ 120 ＝ 25.0 %	29 ／ 116 ＝ 25.0 %	28 ／ 112 ＝ 25.0 %	27 ／ 108 ＝ 25.0 %	27 ／ 108 ＝ 25.0 %	27 ／ 108 ＝ 25.0 %
		積極的支援	57 ／ 170 ＝ 33.5 %	55 ／ 164 ＝ 33.5 %	53 ／ 158 ＝ 33.5 %	51 ／ 152 ＝ 33.6 %	51 ／ 152 ＝ 33.6 %	51 ／ 152 ＝ 33.6 %
	実績値※2	全体	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %
		動機付け支援	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %
		積極的支援	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %	- ／ - ＝ - %

※１）特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）
※２）特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）
※３）特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）
-

特定健康診査等の実施方法（任意）
-

個人情報の保護
当健保組合は、しんくみ関西健康保険組合個人情報保護管理規定を遵守する。 当健保組合及び委託された健診・保健指導機関は、業務によって知り得た情報を外部に漏らしてはならない。 当健保組合のデータ管理者は常務理事とする。またデータの利用者は当組合の職員に限る。 外部委託する場合は、データの利用範囲・利用者を契約書に明記することとする。

特定健康診査等実施計画の公表・周知
本計画の周知は、各事業所に送付するとともに、ホームページに掲載する。

その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）
-